

マンガで解説!

にほん かいこう

ちしま かいこう

日本海溝・千島海溝

沿いの巨大地震

事前の備えで命を守る!

マンガはこちらから

必要な行動や事前準備を
今から知っておこう!

北海道・三陸沖後発地震
注意情報についてなに?
広い範囲に津波が
来るってホント?

保存版

図表で解説!

にほん かいこう

ちしま かいこう

そ

日本海溝・千島海溝沿いの 巨大地震

ほっかいどう

と

さんりくおき

北海道・三陸沖

ほっかいどう

じしん

ちゅうい じょうほう

後発地震注意情報

解説はこちらから

想定される津波と震度は?
事前の備えはどうするの?



日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域

東北地方太平洋沖地震の震源域

内閣府
Cabinet Office

政策統括官(防災担当) 付参事官(調査・企画担当)

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1
中央合同庁舎 8号館 3F
TEL: 03-5253-2111 (大代表)
https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/index.html



気象庁
Japan Meteorological Agency

地震火山部

〒105-8431 東京都港区虎ノ門 3-6-9
TEL: 03-6758-3900 (代表)
<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nceq/index.html>



FDMA 総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

国民保護・防災部防災課

〒100-8927 東京都千代田区霞が関 2-1-2
中央合同庁舎 2号館
TEL: 03-5253-5111 (代表)
<https://www.fdma.go.jp/>



リサイクル適性(A)

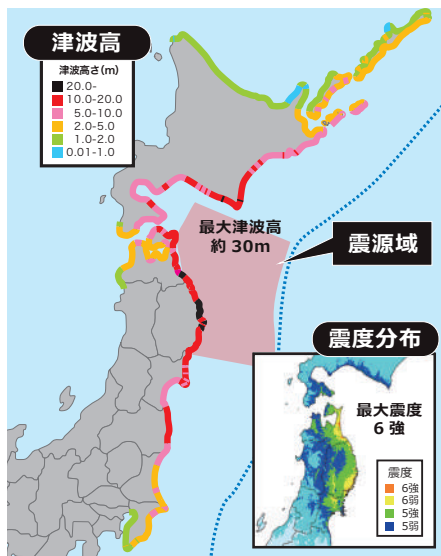
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震とは

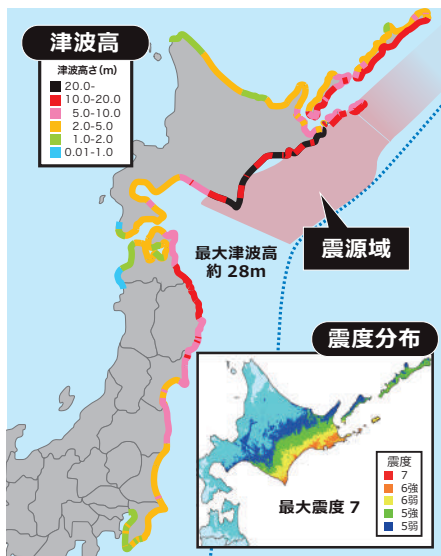
岩手県から北側の日本海溝・千島海溝沿いでは、過去の津波の発生間隔などから見ると最大クラスの津波を伴う巨大地震が切迫しています。大きな被害が見込まれる地域では、巨大地震で発生する高い津波や強い揺れに日頃から備える必要があります。

想定される津波と震度

日本海溝沿いの地震



千島海溝沿いの地震



被害想定と防災対策の効果

- 最悪の場合、約19万9千人の死者の発生が想定されます。
- 津波から逃れた後、寒冷状況に長時間さらされることで、低体温症による死亡リスクが高まります。
- 避難意識の改善や防寒備品の準備など事前の備えで被害を低減できます。

推計項目	有効な備え	日本海溝地震	千島海溝地震
死者数	○避難意識の改善 ○避難ビル・タワー等の活用	25(万人) 19.9 8削減 3.0 備えなし 備えあり	12(万人) 10.0 8削減 1.9 備えなし 備えあり
低体温症 要対処者数	○防寒備品の準備 ○屋内施設への避難の徹底 等	5(万人) 4.2 リスクの 最小化 備えなし 備えあり	2.5(万人) 2.2 リスクの 最小化 備えなし 備えあり



目次

- ◆ マンガ「日本海溝・千島海溝が動いた日」…………… 1～12
- ▼「解説」は裏表紙から読もう！
- ◆ 日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震とは…………… 説1
- ◆ 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に備えるための
マイタイムライン…………… 説2
- ◆ 日頃からの地震への備え…………… 説3・4
- ◆ 北海道・三陸沖後発地震注意情報とは…………… 説5・6
- ◆ 北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時の各地域の状況…………… 説7・8
- ◆ 北海道・三陸沖後発地震注意情報発表後の対応…………… 説9
- ◆ 最後に…………… 説9

※わかりやすさのため、演出上マスク等は描いていませんが、感染症対策について十分留意してください。